

瑞浪市青少年育成市民会議だより

第3号



# 笑顔あふれるみずなみ

「みとめて ほめて ほげまして」 みんなの力で健やかに

## 第1回瑞浪市青少年育成市民会議総会

平成25年5月26日(日)



日吉町民会議モデル地区指定  
瑞浪陸上スポーツ少年団、  
KAMADO童夢活動団体指定



街頭啓発活動

瑞浪駅前、ピアゴ、ハローにて  
啓発グッズを配布(7月16日)



「転んだら起きればいい」  
廣中 邦光 氏による講演会

よろしくお願いします。

「いっしょに」  
瑞浪市青少年育成推進員長  
後藤 東

日頃から瑞浪市青少年育成市民会議の活動につきまして、ご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

瑞浪市の青少年が、生きがいを持ち、自立心を養い、自己の確立を目指すことができるよう、支援していくことが私たち大人の役割だと思います。

そのために、私たちは、家庭教育のあり方を学び、街頭啓発活動・夏季巡回指導や環境改善活動等を通して地域での青少年健全育成の取組を推進しています。

さて、今回『笑顔あふれるみずなみ』第三号の発行をさせていただきましたことになりました。市民の皆様にはこの広報をご覧になり、市民会議の活動を一層ご理解いただき、「笑顔があふれる、非行のない瑞浪」を目指し、地域ぐるみのご支援をたまわりますようお願いいたします。

# 平成25年度瑞浪市主張大会

↑  
瑞浪高校書道部作成の横断幕です。又、今年も、高校生が司会を行い、明快な進行が大変好評でした。

第34回瑞浪市主張大会が瑞浪市総合文化センターで開催されました。約500名の聴衆の前で、小学生、中学生、高校生の全17名の皆さんが、毎日のくらしの中で考えたことや自分の体験をもとにした想いを発表され、多くの感動を与えました。



- |                   |        |        |         |
|-------------------|--------|--------|---------|
| ◎最優秀賞             | ◎優勝賞   | ◎小学生の部 | ◎中学生の部  |
| ◎谷口友紀乃            | ◎山口 藍  | ◎堀部 花奈 | ◎曾我 拓史  |
| ◎中山 晃希            | ◎山野井 篤 | ◎林 あかり | ◎堀 貴広   |
| ◎KOTO R A F A E L | ◎水野 恵  | ◎増田花奈恵 | ◎橋本 容行  |
|                   |        | ◎安達 玖見 | ◎長谷川きらら |
|                   |        | ◎藤井真奈美 | ◎深谷 夏希  |
|                   |        | ◎豊本ひとみ |         |

## 大切な私達の伝統

最優秀・山口さんの主張

稲津中学校 3年 山口 藍

みなさんは、「学校の統合」という言葉を聞いたことがありますか。私が通う稲津中学校は、平成28年に、同じ市内の陶中学校と統合し、新しい学校が生まれます。学校の統合は、新しい校風や伝統を一からつくりあげる大変さがある反面、互いの学校のよい面を出し合っていく素晴らしさもあると思います。

私は、稲津町に生まれ、保育園から中学校まで稲津町を出たことはありません。私たちが卒業しても、稲津中学校が母校として、当然のように存在するものだと思っていました。しかし、稲津町でも少子化が進み、今まで学年二クラスだったのが、一クラスの学年もできてしまいました。だから、統合も仕方がないことだと思います。それでも、母校がなくなることに對して、とても悲しく寂しい思いがあります。

稲津中学校がなくなることを止めることはできません。しかし、稲津中学校の「何か」を残すために、私たちにできることはないのか考えました。そして、先輩から受け継いだ伝統を後輩へしっかりと伝えることが大切だと考えました。

稲津中生が伝統として誇っているものはいくつかあります。その中でも、私は次の二つを伝えていきたいです。

一つ目は合唱への取り組みです。「歌に込められた思い」と「私たちの願い」を、聴いてくださる方々に伝えられる合唱を目指して、合唱委員会を中心に全校で取り組んでいます。

二つ目は、ノーチャイム制で身に付けた、「自分の行動に責任をもつ気持ち」です。稲津中学校ではチャイムが鳴りません。だから、自分たちで時計を見て行動します。授業開始の三分前には準備をし、二分前には着席、一分前には教科係が中心となって学習を始めます。

この二つの活動は、一人一人が進んで行動することはもちろん、クラスの仲間が声をかけ合い、助け合うことで達成できることです。こうして築かれたクラスの力が、学年、学校に広がり、「稲津中の力」になります。学級や学年を越えて、互いに刺激し合ってさらに磨きをかけていきます。

しかし、陶中学校と統合するのに、自分たち稲津中の伝統ばかり優先することはできません。私は、陶中学校について調べてみました。すると、陶中と稲津中にはいくつかの共通点がありました。

まずは、合唱です。稲津中は学年を越えて合唱を磨き合っています。一方、陶中は、町の合唱団の方が合唱祭に参加されるそうです。よいものを目指し、視野を広げて取り組んでいる点と同じです。次に、町の行事への参加です。稲津中では、三年生が中心となって町の行事に参加し、お手伝いをしています。私達は稲津町の一人として、少しでも地域のお役にたちたいと思っています。陶中の人と同じだと思います。市のホームページを見ると「追跡ハイク」という行事で、中学生が活躍している様子が紹介されていました。

また、陶町と稲津町にも共通点があります。どちらも歴史ある陶器の町で、陶町には美濃焼のこま犬や茶壺、稲津町には大皿などの名物があります。そして、どちらも豊かな自然に恵まれています。

よく似た環境に育ち、同じような願いをもっている陶中と稲津中なら、きっと、統合しても協力していけると思います。

稲津中という校名はなくなり、瑞浪南中に変わり、校歌や制服が変わっても、陶中や稲津中のよき伝統を残してほしいと思います。それは、両校の生徒も、地域の方も同じ思いでしょう。お互いに高め合い、新しい学校を作り上げるために、それぞれの良いところを尊重していきたいです。そのために、私は、今ある稲津中の伝統を大切に守りたいです。そして、陶中の伝統も大切にできるよう、お互いを知る努力をしていきたいです。

**ぴかぴか・すっきり!**

七月十八日、環境改善部会、瑞浪高校MSリーダーズ、土岐地区まちづくり推進協議会役員の皆さんが中心となって、昨年に引き続き「パロー中央店」近くの地下道の落書き消し、周辺のごみ拾いの奉仕活動をしました。炎天下、熱中症に気を付けながら、総勢百名の参加をいただきました。



### 地域活動部会

「大勢の人が見ていて緊張した。」「他の人が冷静そうに見えて、私はどきどきしてしまった。でも素直に話せた。」…主張大会の発表者のステージ裏インタビューの一部です。

私たちは、昨年度より市の主張大会の運営に協力しています。青少年の真摯な思いや豊かな発想、郷土愛などに触れ、感動させられます。

今後も、青少年の地域活動への参加を促すと共に、ふれあい活動・世代交流活動の推進を通して「地域の青少年は地域で育てる」という思いをみなさんと共有していきます。

### 環境改善部会

夏休みを含む夏季の開放的な時期に、青少年の健全な成長を妨げる様々な誘惑や不審者からの見守りを行う『夏季特別街頭指導』を主な活動としています。また近年、携帯電話やインターネットの普及による有害サイトや不適正なメールの使用等、その活用の有り方も問題になってきています。そこで、青少年の動向を知り、指導や見守りに役立てるよう、努力しています。

**夏季特別街頭指導**

主に夜間の見回りを進めて、挨拶運動や声かけ活動に取り組んでいます。

### 家庭教育部会

家庭や学校・PTA との連携を深め、家庭教育のあり方を学び、交流し考え、実践を深めて行くことを大切にしています。

昨年の講演会「これからの日本人～震災から学ぶ～」(桐井雅康講師)では多くの方から、感動と人との支え合い、家族の絆の大切さを考えさせられたと感想をいただきました。

今年度も「笑顔あふれる家庭」をめざし、講演会活動を計画しています。また、各学校区のPTA母親委員長さんを中心として、「挨拶運動」「食育」「子育て」などの活動、学校や家庭の現状や課題を交流し合い、学び合っています。

### 広報部会

市民の皆さんに、青少年育成市民会議と市民会議の活動及び、各地区で活動している青少年育成委員の取組を知っていただき、活動が広がるために、広報誌・事業ちらし等を使用して広報活動を行っていきます。

## 瑞浪市青少年育成市民会議は…

市長を会長として各町民会議、自治会、各種団体、子ども会、学校、PTA等から組織されています。各町から推薦された推進員を中心に、家庭教育部会・地域活動部会・環境改善部会・広報部会の四部会に分かれ、それぞれが連携し合い、青少年育成活動を推進しています。※昨年度、組織を改変し、各部会の活動内容をはっきりさせるとともに名称も変更しました。（広報部会を新設）



会長 水野 光二（瑞浪市長）

市推進員  
 後藤 東  
 大久保 京子  
 松浦 大哲  
 田中 茂  
 安藤 民子  
 安田 善一朗  
 重田 博之  
 奥村 孝志  
 小栗 隆  
 加藤 智一  
 加藤 博之  
 加藤 博之

本部役員  
 山田 実三  
 近藤 泰文  
 勝藤 康弘  
 平林 道博  
 後藤 元東  
 矢野 昌子  
 水野 治  
 伊藤 三治  
 柴田 武彦  
 三輪 智彦  
 加藤 善一  
 安田 善一  
 伊藤 善一  
 加藤 善一  
 伊藤 善一  
 加藤 善一

家庭教育部会員  
 ◎柴田 増三  
 ○小栗 隆  
 北原 譲介  
 小栗 節子  
 小倉 清弘  
 岡本 裕樹  
 伊藤加代子  
 本田美和子  
 楯 英夫  
 日比野由美子  
 加藤 幸彦  
 土田友美子  
 岡本 玉美  
 山田由香子  
 和田 広美  
 森 勝子  
 加藤 悦子  
 松浦 大哲  
 田中 茂

地域活動部会員  
 ◎三輪 武彦  
 ○大久保京子  
 三輪 勝彦  
 阿部 利直  
 辻 正之  
 田澤 保之  
 名越 龍男  
 愛知 孝夫  
 加納 常男  
 梶田 静子  
 中野 啓一  
 赤岩かつ子  
 渡辺 和子  
 渡辺 千景  
 酒井 康宏  
 羽柴 鎮也  
 加藤 勝美  
 奥村 孝志  
 工藤 仁志

環境改善部会員  
 ◎加藤 智一  
 ○後藤 東  
 松山 央  
 伏見 正康  
 三宅 滋郎  
 野上 利行  
 逸見 智孝  
 北原 淳子  
 中西 健  
 小木曾 篤  
 横山 知明  
 高橋 佑太  
 伊藤 良子  
 大橋貴美子  
 小木曾敏明  
 浅野 隆  
 加藤 安司  
 重田 博之  
 清水 憲雄

広報部会員  
 ◎安田善一朗  
 ○安藤 民子  
 加藤 健二  
 足立 弘文  
 加藤 和子  
 小木曾紀春  
 井上 永一  
 小椋 末実  
 福田 道大  
 今井 浩光  
 有賀 教明  
 林 光明  
 兼松 範夫  
 渡辺 俊美  
 山口 正寿  
 中島 恬  
 富岡 良宏  
 坂井 宗明  
 中山 研吾  
 加藤 博之

☆編集後記  
 青少年育成市民会議だよりの第3号を発行することになりました。我々の活動をより多くの市民の皆さんに知っていただくために、親しみやすい誌面を作っていきますので、よろしくをお願いします。

☆今後の主な年間行事予定  
 ・7月～9月 夏季街頭指導活動  
 ・11月22日（金） 街頭啓発活動  
 ・11月24日（日） 第2回青少年育成市民会議  
 ・2月6日（木） 第2回四部会  
 ・2月23日（日） 第3回青少年育成市民会議  
 活動指定地区、団体活動発表